

科目名		小児看護学	単位(時間)	5(180)	28・29期生	DP
担当講師名		専任教員 他			1～2年次	1・2・3・4
科目設定理由		<p>小児看護学では、各期で特徴の異なる子どもの成長発達や子どもと家族を取り巻く環境について理解し、小児看護の基礎を学ぶ。また、健康障害をもつ子どもと家族の状態や状況を包括的に捉え、最善の利益を守る看護を考えることを目指し、科目設定した。</p> <p>小児看護学概論では、子どもの各期の特徴や小児看護の理念・役割・子どもを取り巻く環境や小児看護における倫理を学ぶ。小児看護援助論Ⅰでは、小児看護学概論を土台に、子どもが罹患しやすい疾患と症状を知り、健康障害を持つ子どもと家族の置かれている状況を包括的に捉え、看護実践ができる能力を養う。小児看護援助論Ⅱでは、疾病・障害をもつ子どもに適切に対応し、子どもと家族がその人らしく生活するために必要な看護を学ぶ。また子どもの特徴や治療・検査・処置に応じた援助技術を学ぶために設定した。</p>				
科目構成	科目名	小児看護学概論	小児看護援助論Ⅰ		小児看護援助論Ⅱ	
	単位時間	1単位30時間	1単位30時間		1単位30時間	
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の特徴と理念 2. 子どもの成長・発達 3. 各期の子どもの特徴 4. 子どもと家族を取り巻く環境 5. 子どものフィジカルアセスメント 6. 小児看護における倫理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの疾患と主な症状 2. 健康障害をもつ子どもと家族の看護 		<ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな状態や状況にある子どもと家族の看護 2. 治療・処置・検査を受ける子どもの看護 3. 障害のある子どもと家族への支援 	
	科目名	小児看護学実習				
	単位時間	2単位 90時間				
	実習のねらい	<p>小児看護学実習では、保育所・特別支援学校・病院と様々な場で生活する子どもや障害のある子どもとのかかわりを通して、成長発達や日常生活および基本的な生活習慣の獲得への援助方法や、その子らしく成長し生きる力を支援する看護を学ぶ。病院実習では健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響を理解し、健康回復のための基礎的な看護実践能力を養う。また、子どもと家族を一つの看護単位として捉え、関係性と相互作用を維持するにはどのような関わりが必要かを考え、小児看護の意義と役割について学ぶ。</p>				
学習を支える情報	<p>小児看護学では、子どもと家族の看護について学習していきます。まずは対象である子どもの理解を深めるため、身近にいる子どもや地域の中にいる子どもの遊んでいる様子、服装や玩具、日常生活の様子などに興味・関心を持ちましょう。また、子育て支援や子どもや家族をとりまく社会問題にも興味・関心を持ち、学習や子どもの看護に繋げていきましょう。</p>					